

# 協調型安全運転支援システム「ITS Connect」の普及に向けた取り組み状況

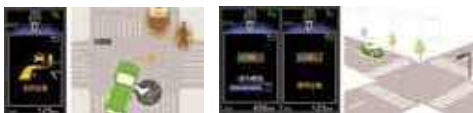
## 1. 車載機の普及状況



ITS Connect搭載販売台数：約8万台（2017年7月末現在）  
内、愛知県 約3万4千台

- ・2017年8月現在、4車種がITS Connectに対応
- ・対応車種は今後順次増やしていく

### ＜提供中のITS Connect サービス＞ 路車間通信システム



【右折時注意喚起】 【赤信号注意喚起】  
【信号待ち発進準備案内】

### 車車間通信システム

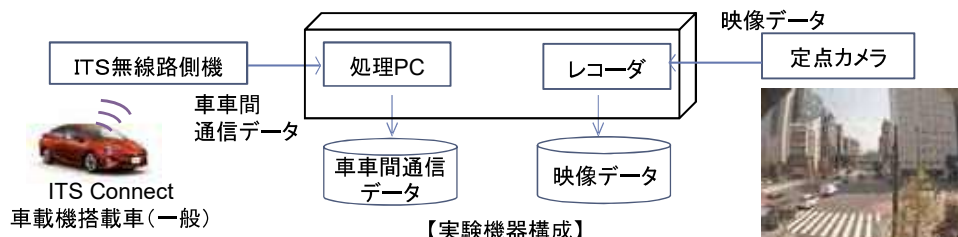


【通信利用型レーダー・クルーズコントロール】 【緊急車両存在通知】

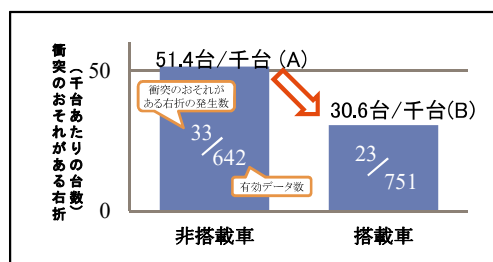
■メーカーオプション（自律型安全装備）を選択した場合に選択可能  
※1. Toyota Safety Sense 2.0 (レーダー・カメラ付) 27,000円（消費税別）  
■メーカー系選小売価格 27,000円（消費税別）25,000円  
※2. コネクティッドナビ（ナビ付）をオプションで選択した場合は、12.0万円（消費税別）

## 2. 効果評価の実施状況 (UTMS協会)

### 1) 評価方法 搭載車・非搭載車それぞれの右折映像からヒヤリハットを抽出



### 2) 解析結果



衝突のおそれがある右折が、  
**約 40%減**

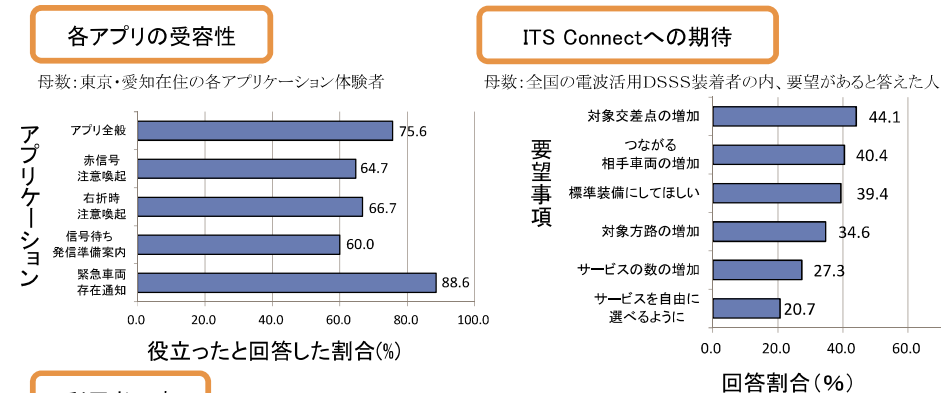
p値: 0.049 (5%有意、データは継続収集中)  
2016年4月～12月のデータ解析結果  
(非搭載車:642台、搭載車:751台)

## 3) アンケート調査

### (1) 利用者アンケート概要

- 【実施目的】 ・現在実施中の公道実験で知ることができない、利用者の受容性を評価する  
・定量評価ができないアプリについて定性的な評価を行う
- 【実施手段】 調査会社を通じた、インターネットアンケート
- 【実施時期】 2017/02/10～2017/02/14
- 【回答者】 全国1359名（内、ITS Connect装着者500名）

### (2) アンケート結果(抜粋)



### 利用者の声

- 右折時は死角も多いので、注意喚起があると便利
- 機能的には期待感があるので、もっと交差点を増やしてほしい
- 高齢化社会にむけ、安全装備をより充実させるべき
- 自動運転をサポートする重要な技術。さらなる普及・発展を期待します

## 3. つながる相手先の拡大 (救急車への送信機搭載)

### ＜緊急車両存在通知の概要＞

ITS Connect を搭載した一般車両に、サイレンを鳴らしている救急車\* が接近すると、一般車両に対する救急車の方向、距離、進行方向をドライバーに知らせる。

\* 本システムに対応した通信機を搭載する救急車

必要なデータを収集し無線で送信する  
・自車位置、速度、進行方位  
・緊急移動中(サイレン and 警光灯)



### 救急車への送信機搭載状況

- ( '17年8月現在 )
- 名古屋市消防局 : 56台
  - 豊田市消防本部 : 21台
  - 一宮市消防本部 : 7台
  - 神戸市消防局 : 4台
  - 東京都内(病院) : 6台

合計 94台